

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	ご利用者の方々の身体状況や認知症状況の変動についての把握や、記録としても残しているが、ご利用者の気持ち(心)の移り変わりについての記録はおこなっていない。	ご利用者の気持ち(心)の移り変わりが読み取ることができる記録の実施。	現在使用している「ケース記録」や「介護日誌」、「日常生活状況表」等の記録物の書式の見直し及び、更新をおこなう。	12ヶ月
2	14	他の事業所(グループホーム)との定期的な交流の機会がなく、同業者との交流を通じた向上が希薄である。	近隣の同業者との意見交換や情報交換を定期的におこなう。	近隣の同業者の管理者と「事業者連絡会」等をつうじて話し合う機会をつくり、情報交換や互いの事業所での悩みや問題等を話し合い、共にサービスの質の向上に努めていく。また、「全国グループホーム協会」に参加することで、最新の情報を積極的に取得するように努める。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。